

レジメン登録フォーマット

申請年月日		使用開始日	平成27年1月1日		
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師		化学療法委員会承認年月	平成 年 月
レジメン名	FP+ Radiation(食道がん) (アプレビタントカプセル)				
疾患名	食道がん	適応の備考			
適応分類	進行再発				
1コース日数	28	日間	総コース数	2	コース 催吐性リスク 高度
抗がん剤投与量・投与日 シスプラチン70mg/m <sup>2</sup> day1、5-FU 700mg/m <sup>2</sup> /日 day1-5					

治療スケジュール・投与日程(投与日は●)		(day)																														
投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
1	側管1	生食500mL	1 本 / body		●																											
	点滴静注	KCL注キット(1mEq/mL)	20 mL / body	1 時間	●																											
		硫酸Mg補正液	8 mL / body		●																											
2	側管1	生食500mL	1 本 / body	1 時間	●																											
	点滴静注	フロセミド注 20mg	1 A / body		●																											
3	側管1	ハロ/セトロン注ハック0.75mg50mL	1 本 / body	30 分	●																											
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2ml	1 本 / body		●																											
		デキサート注射液1.65mg/0.5mL	2 本 / body		●																											
4	主ルート	生食500mL	1 本 / body	2 時間	●																											
	点滴静注	シスプラチン	70 mg / m <sup>2</sup>		●																											
シスプラチンと同量の生食を抜いてから混注する(合計500mLとする)																																
5	主ルート	生食500mL	1 本 / body		●	●	●	●	●																							
	点滴静注	5-FU	350 mg / m <sup>2</sup>	12 時間	●	●	●	●	●																							
6	側管2	生食500mL	1 本 / body		●	●	●																									
	点滴静注	フィジオ140輸液500mL	1 本 / body	1 時間	●	●	●																									
7	主ルート	生食500mL	1 本 / body		●	●	●	●	●																							
	点滴静注	5-FU	350 mg / m <sup>2</sup>	12 時間	●	●	●	●	●																							
8	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分					●																							
	点滴静注																															
	経口投与	アプレビタントカプセル	125 mg / body		●																											
	抗がん剤の投与1時間前に服用																															
	経口投与	アプレビタントカプセル	80 mg / body			●	●																									
	分1 朝食後																															
	経口投与	デカドロン錠	8 mg / body			●	●	●	●																							
	分2 朝食後																															

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。(例: Rp2とRp3を同時に投与開始する。)

【投与上の注意】

シスプラチン: 希釈は生食のみ。

シスプラチン: 腎毒性軽減のためhydrationが必要。

・day2~5のデカドロン錠は、経口投与が困難な場合は注射薬での投与を検討する。

・day5のデカドロン錠は、状況に応じて投与の可否を選択できる。

アプレビタントカプセル: 各コースにおいて、投与期間は3日間を目安とする。成人で5日間・12歳以上の小児で3日間を超えて投与した際の有効性及び安全性は確立していない。

アプレビタントカプセル: 原則としてコルチコステロイド及び5-HT3受容体拮抗型制吐剤と併用して使用すること。

アプレビタントカプセル: 抗悪性腫瘍剤の投与1時間~1時間30分前に投与し、2日目以降は午前中に投与すること。

RTは、合計約60Gy

総コースは、2コース